

# 佐賀県総合教育会議

---

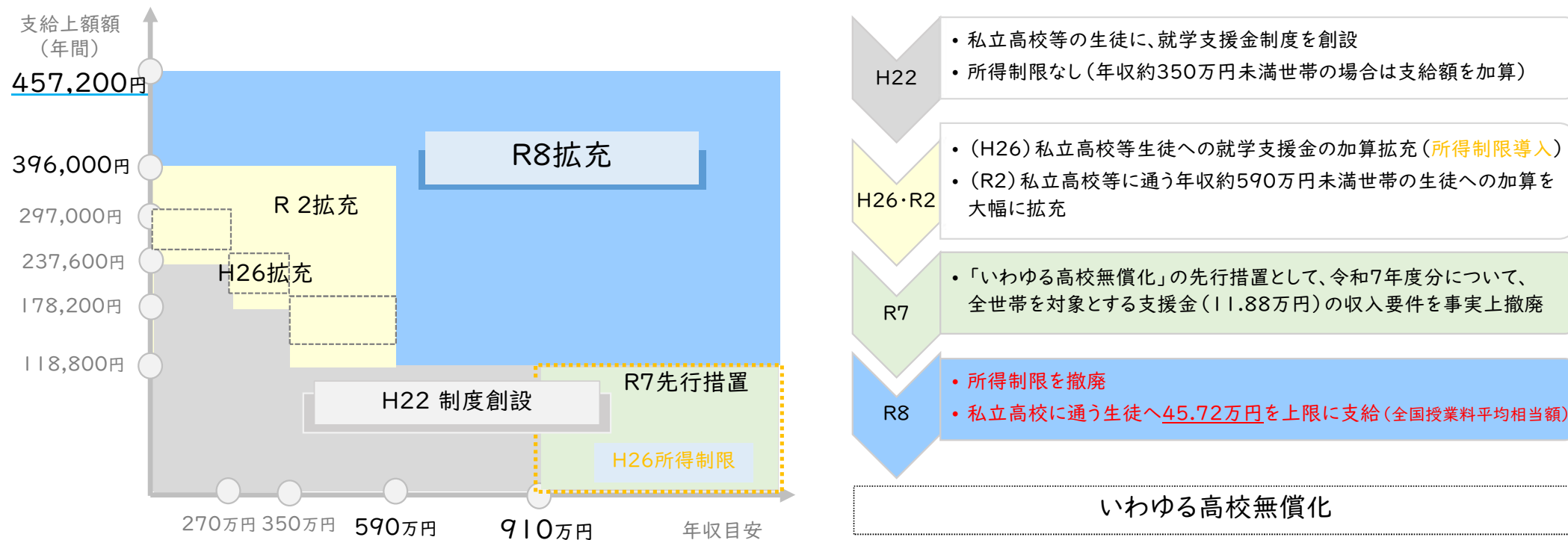
[第34回]

- ・私立高校の授業料完全無償化を受けたこれからの公立高校のあり方(50分)
- ・【報告】業務量管理・健康確保措置実施計画の策定(10分)

令和8年3月27日

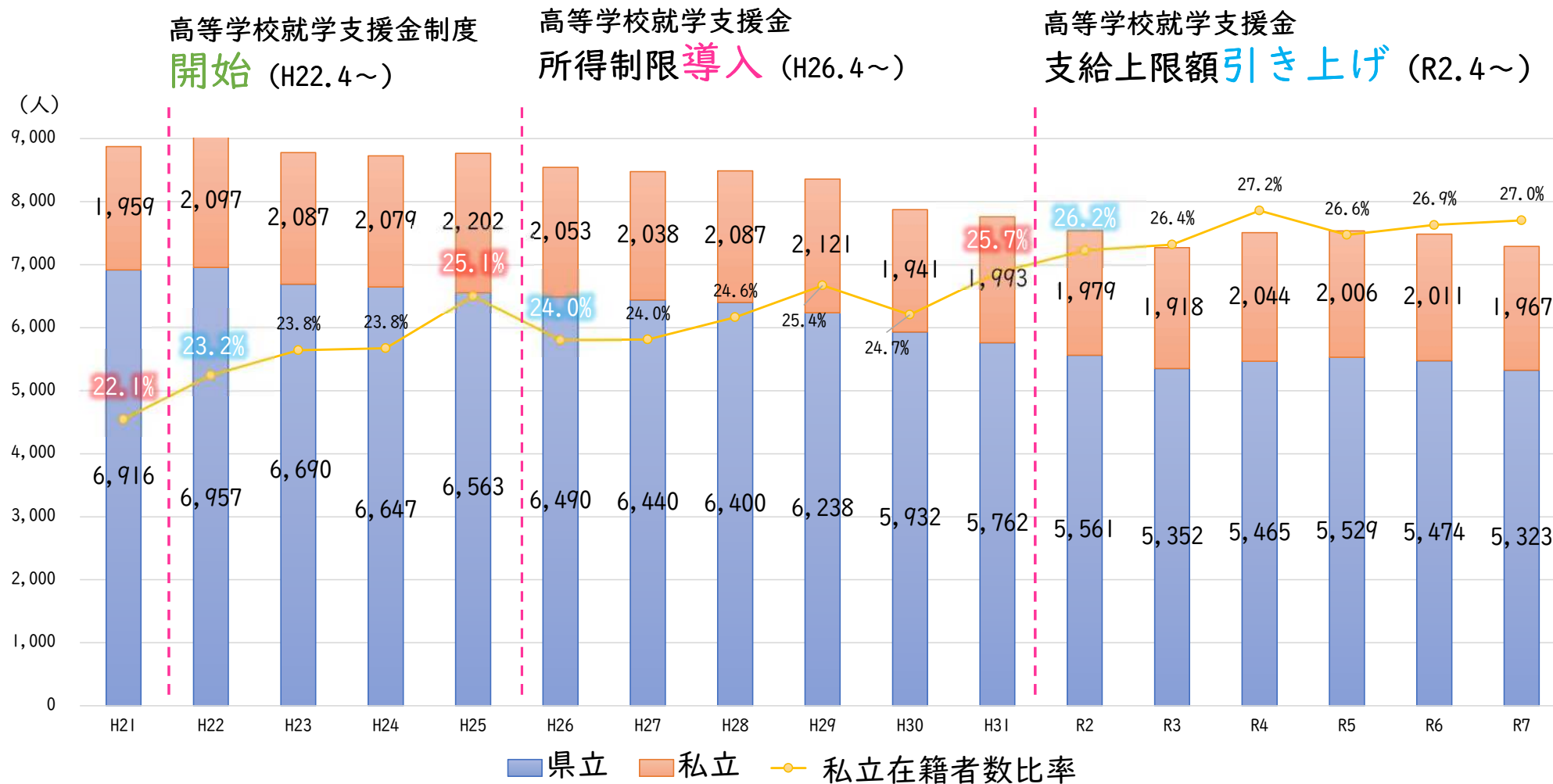
# 高校授業料の無償化に関する動向

平成22年度から公立高校の授業料が無償化され、私立高校等の生徒には、就学支援金制度を創設。以降、制度の見直しがされてきた。



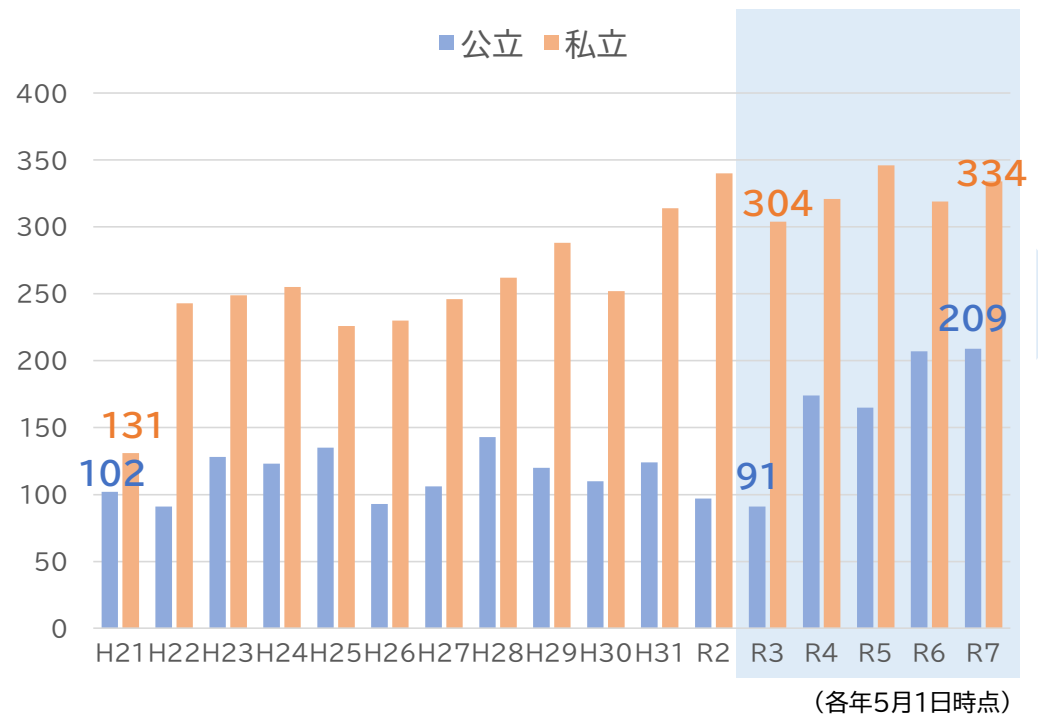
多くの生徒にとって、私立高校への進学がより大きな選択肢となる一方で、公立高校への進学希望者が減少することが懸念される。

# 県内高校在籍者数(1年生)の推移(各年5月1日時点)

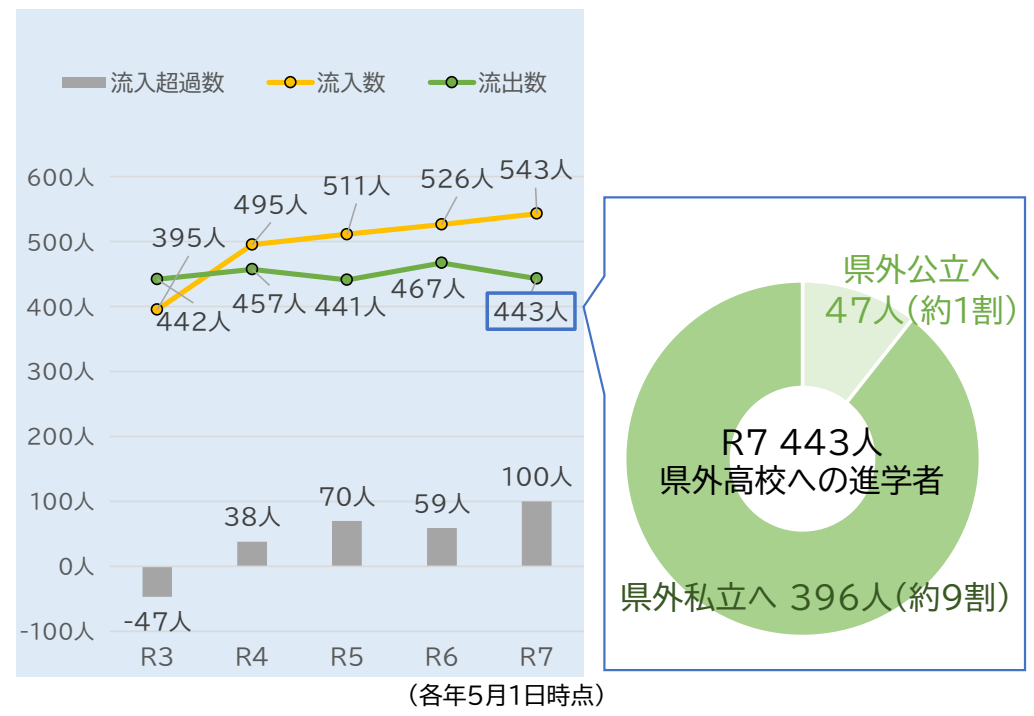


# 県外中学校出身者の県内高校（公立・私立）への入学状況

## 県外中学校出身者の県内高校への入学者数



## 高校進学に係る中学校卒業者の流入出数



▶ 公立、私立ともに増加傾向。  
公立は直近5年で約2.3倍増。私立は一定の水準をキープ。

▶ 直近5年で流入超過数は約3倍増。  
流入数は年々増加、流出数は横ばいで推移。

# 九州各県の入試志願状況

## 九州各県の県立高校入試志願倍率 (R8入試)

県名	R8年度入試	R7年度入試	差
福岡県	1.03	1.11	△0.08
佐賀県	1.00	1.02	△0.02
長崎県	0.80	0.81	△0.01
熊本県	0.88	0.92	△0.04
大分県	1.03	1.02	+0.01
宮崎県	0.71	0.82	△0.11
鹿児島県	0.76	0.81	△0.04

▶ 佐賀県は九州では高い方から3番目

## 福岡県の入試志願状況 (R8入試)

	R8入試	R7入試	R8-R7
県立高校倍率	1.03倍	1.11倍	△0.08
県立高校志願者	22,854人	24,542人	△1,688人
私立高校志願者	50,082人	42,829人	+7,253人

福岡県は私立高校の志願者数が、前年比約7千人増

- ▶ 福岡県には、私立高校が59校所在
- ▶ 学校の多さから中学生の私立高校への関心が高いと思料
- ▶ 志願者数増は、主に福岡地区（福岡市等）所在の高校

# 入学者選抜試験のスケジュール 令和8年度(2026年度)入試

私立高の中でも、早稲田佐賀、弘学館、東明館は受験日が異なることから、併願しやすい試験日程

	12月						1月						2月						3月			
	上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		上旬			
	1~5日	6日~10日	11日~15日	16日~20日	21日~25日	26日~31日	1~5日	6日~10日	11日~15日	16日~20日	21日~25日	26日~31日	1~5日	6日~10日	11日~15日	16日~20日	21日~25日	26日~28日	1~5日	6日~10日		
県立高校																					3/3-4 試験	3/11 合格発表
																					特別選抜	一般選抜
私立6校																					1/22 試験	~1/27 合格発表
																					前期	後期
早稲田佐賀																					12/13 試験	12/16 合格発表
																					推薦	一般(1月)
																					2/14 試験	2/16 合格発表
																					一般(2月)	
弘学館																					12/14 試験	12/15 合格発表
																					専願	一般
																					1/6 試験	1/9 合格発表
																					1/5 試験	1/7 合格発表
東明館																					推薦・総合型選抜	一般(A日程)
																					2/20 試験	2/21 合格発表
																					一般(B日程)	

福岡地区私立 2/12 試験      2/17 合格発表

# 佐賀県高校入学志願状況 令和8年度(2026年度)入試

中学3年生 生徒数(佐賀県内) 7,935人 うち、県立中、私立中除く生徒数 7,061人

## 私立高校

**9,367人** R7差 **+616人**

県外の中学校等の生徒を含む

佐賀県調べ令和8年1月31日時点

募集人員

1,905人

申込者が増えた学校 **7校(全9校中)**

試験日	学校名	R8入試申込	R7差
異なる	早稲田佐賀	2,042	+258
	弘学館	902	+180
同一日 (R8.1.22)	東明館	237	+40
	北陵	688	+101
	佐賀学園	1,278	+95
	敬徳	915	+62
	佐賀清和	1,897	+18
	佐賀女子	614	△ 67
	龍谷	794	△ 71
	合計	9,367	616

県内外を問わず、これまで費用面の理由からチャレンジできなかった層が新たに申し込んだことにより、両校への申込が顕著に増加した可能性がある。

- ・ 福岡地区の受験生の私立高校受験への意識の高まり
- ・ 佐賀県内の私立高校入試日程は福岡県の私立高校より早く、中でも早稲田佐賀、弘学館、東明館は佐賀県内の私立でも早い日程

学校名	R1入試申込	R8入試申込	差
早稲田佐賀	1,339	2,042	+703
弘学館	372	902	+510

# 佐賀県高校入学志願状況 令和8年度(2026年度)入試

中学3年生 生徒数(佐賀県内) 7,935人 うち、県立中、私立中除く生徒数 7,061人

県立高校(全日制)

**5,815人** R7差 **+67人**

志願者数(特別選抜+一般選抜)

県外の中学校等の生徒を含む

募集人員(特別選抜+一般選抜) **5,413人**(R7比2人減)

志願倍率

特別選抜 **1.35**(R7比0.08増)

一般選抜 **1.00**(R7比0.02減)

## 一般選抜志願状況

倍率の高い学科

(普通科) 佐賀北 **1.59**(R7 1.41)

致遠館 **1.42**(R7 1.26)

(専門学科) 佐賀工業(電気科) **1.35**(R7 1.41)

鳥栖工業(土木科) **1.33**(R7 0.79)

定員に満たない学校・学科

学校 **32校のうち17校**(R7比 2増) 鹿島、神埼、佐賀東 等

学科 **77学科のうち36学科**(R7比 1増) 牛津(服飾デザイン科) 高志館(環境緑地科) 等

## 令和8年度新設 唐津青翔 eスポーツ学科

	募集人員	志願者数	志願倍率
特別選抜	8人	24人	3.00
一般選抜	12人	15人	1.25

## 県立高校の入学志願状況の推移

実施年	県内中学校 卒業者 (人)	特別選抜			一般選抜			
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率	合格者数 (人)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率
令和2年	8,077	445	554	1.24	353	4,987	5,149	1.03
令和3年	7,808	545	636	1.17	428	4,711	4,905	1.04
令和4年	8,048	642	726	1.13	550	4,742	4,919	1.04
令和5年	8,132	776	908	1.17	645	4,744	4,899	1.03
令和6年	8,092	837	1,044	1.25	678	4,667	4,880	1.05
令和7年	7,861	910	1,152	1.27	750	4,505	4,596	1.02
令和8年	7,935	1,201	1,627	1.35	1,048	4,212	4,191	1.00

※ 県内中学校卒業者のR8は、令和7年度の3年生在籍者数を合算。

志願者数は、特別選抜 **増**、一般選抜 **減** (R2→R8 : 特別選抜+1,073人、一般選抜▲958人)

▶ 早い時期に進路を確定したいと考える生徒が増えている可能性あり

# 新たな佐賀県立高等学校入学者選抜制度

【令和10年度入学者選抜から開始予定（令和7年度中学1年生が対象）】

## 現行制度 令和9年4月入学生まで

### 特別選抜(2月上旬実施)

- スポーツ推進指定校
  - ✓ 競技実績に基づく募集枠
  - ✓ 学校希望に基づく募集枠
- 文化芸術推進指定校
- 特色ある教育課程推進指定校

### 一般選抜(3月上旬実施)

2つの異なる選考方法(選考Ⅰ・選考Ⅱ)による選抜

追検査

再募集

## 新制度 令和10年4月入学生から

### 前期選抜(2月上旬実施)

- 方式①【5教科方式】
  - ✓ 国数英理社の5教科の学力検査
- 方式②【3教科+学びのデザイン方式】
  - ✓ 国数英の3教科の学力検査
  - ✓ 自己表現
- 方式③【3教科+実技検査方式】
  - ✓ 国数英の3教科の学力検査
  - ✓ スポーツや文化芸術の実技検査

追検査(前期選抜で選択した方式で受検)

### 後期選抜(2月下旬実施)

- ✓ 作文、面接、調査書、前期選抜の学力検査(国数英)等

- ・ わかりやすい選抜方式
- ・ 生徒の能力や意欲を多面的に評価
- ・ 現行の特別選抜の時期に募集定員の大半を選抜(前期選抜)

# 佐賀県教育委員会の令和8年度の取組

## 唯一無二の誇り高き学校づくり！

県立高校  
全国初！

唐津青翔高校

### eスポーツ学科 始動！

ストリーマー

ゲーム  
クリエイター

イベント  
運営

デジタル社会下で

新しい価値を創り出す人づくり

## 佐賀らしい探究学習推進事業

生徒も先生も、探究マインドでスキルアップ！

その1

探究学習アドバイザーや  
スーパーバイザー

- 県内の大学や企業等の講師招聘
- 外部人材・機関との調整



その2

探究強化合宿  
学校横断的なチーム編成

- 1泊2日の合同合宿
- 他校生徒同士でフィールドワーク
- 専門家によるアドバイス



自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ人材を育てる

### 豊かな学びの 環境整備

◆ SCHOOL＊COOL プロジェクト

- ・全県立学校の体育館に大型スポットクーラー導入
- ・体育館の稼働率の高い3校に空調設備を整備

◆ スワルとアガル プロジェクト

- ・県立高校の普通教室棟のトイレ洋式化を重点的に整備

私立高校の授業料完全無償化を受けて  
これからの公立高校のあり方について意見交換いただきたい。

15時50分～【報告事項】

業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について

## 業務量管理・健康確保措置実施計画 とは

「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(給特法)等の一部改正法がR7.6.18に公布。

### 【一部改正法のポイント】

#### ○ 学校における働き方改革の一層の推進

- ・ 教育委員会に「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定・公表を義務付け
- ・ 学校運営に関する 基本的な方針 に、同計画の内容を含める

#### ○ 教員の処遇改善

- ・ 教職調整額の段階的引き上げ (R8~R13、毎年1%ずつ引上げ)
- ・ 学級担任手当の創設 など

「働きやすさ」と「働きがい」  
の両立を図る

- ・ 教員の魅力向上
- ・ 教員が生涯を通して  
学び続けられる環境整備

#### ◆ 各都道府県・市区町村の教育委員会が設置する学校に対して計画を策定

→ R8.4.1から同計画に基づく施策や事業を実施

→ 策定(変更)した計画、毎年度の実施状況を公表するとともに、総合教育会議に報告

## 計画策定の基本的な考え方

佐賀県施策方針2023

佐賀県教育大綱

目標や具体的な事業等を整理

佐賀県教育施策実施計画、佐賀県公立学校特定事業主行動計画

教育職員の働き方改革に関する取組に特化し、各計画との整合を図る

**佐賀県 業務量管理・健康確保措置実施計画**

【実施期間】 令和8年4月1日～令和12年3月31日（4年間）

- 国の数値目標「令和11年度までに、教育職員の1か月時間外在校等時間を平均30時間程度に削減」
- 次期の県施策方針（令和9年度～）を踏まえる等、実施期間中に適時、内容を見直し・整理

【対象校】 県立学校（高等学校:32校、中学校:5校、特別支援学校:9校）

【対象職員】 教育職員（給特法 第2条第2項）

## 現状と計画の目標値

《 月平均の時間外在校等時間が45時間を超える教育職員の状況 》

県立学校	R2	R3	R4	R5	R6
月45時間超過者(割合)	520人 (22.0%)	524人 (19.5%)	488人 (18.2%)	481人 (17.9%)	419人 (15.7%)
うち月80時間超過者(割合)	45人 (1.9%)	50人 (1.8%)	46人 (1.7%)	38人 (1.4%)	32人 (1.2%)

◆ 年々、改善はしてきているが、  
依然として時間外在校等時間が長時間化している教育職員が一定数あり。

### 【策定方針(案)】

Ⅰ 時間外在校等時間に係る目標 【国指針と同様】

イ) 1か月時間外在校等時間が45時間以下の教育職員の割合 及び  
1年間の時間外在校等時間が360時間以下の教育職員の割合  
⇒ 100% を目指す

## 現状と計画の目標値

≪ 時間外在校等時間の状況 ≫ 教育職員一人・月当たりの平均

県立学校	R2	R3	R4	R5	R6
全体	31時間12分	28時間50分	27時間52分	27時間10分	25時間43分
全日制)普通科	40時間54分	38時間37分	37時間15分	35時間51分	34時間30分
全日制)専門高校・総合学科	33時間43分	33時間00分	32時間01分	31時間08分	29時間15分
定時制・通信制	12時間48分	12時間33分	11時間43分	10時間56分	11時間26分
特別支援学校	21時間23分	19時間25分	18時間49分	18時間59分	17時間07分
中学校	37時間51分	34時間17分	33時間15分	32時間46分	32時間51分

◆ 年々、改善はしてきているが、  
依然として時間外在校等時間が長時間化している教育職員が一定数あり。

### 【策定方針(案)】

Ⅰ 時間外在校等時間に係る目標 【国指針と同様】

ロ) 1年間における教育職員の1か月平均の時間外在校等時間  
⇒ 平均で30時間程度 とすることを目指す

## 現状と計画の目標値

《 全体・校種別の年次休暇取得状況 》 各年(1月1日~12月31日)における教育職員一人・月当たりの平均

県立学校	R2	R3	R4	R5	R6	R7
全体	11.7日	12.1日	13.0日	14.3日	13.3日	12.8日
高等学校	11.2日	11.3日	12.0日	13.2日	12.4日	12.0日
特別支援学校	13.0日	13.9日	15.3日	16.6日	15.4日	14.4日
中学校	9.9日	10.8日	12.9日	15.3日	13.0日	13.1日

◆ 令和5年までは、取得日数が増加していたが、令和6年、令和7年は前年比で減少している。

【策定方針(案)】

職員一人当たりの年次休暇の取得日数 ⇒ 14日以上 を目指す